

5月28日(日) 国頭郡大宜味村白浜において沖縄県高等学校総合体育大会ボート競技が開催され、瑞慶山姫菜さん(2-4)が女子シングルスカル1位、女子団体に優勝しました。

瑞慶山さんは「初めてのことばかりでとても緊張しましたが、試合前の最後の最後まで一島先生とフォームの確認をしたり調整をしっかりとしました。本番の当日は大雨でしたが、“自分らしいゲーム”そして“ゲームを楽しむ”ことができたので本当に良かったです」と試合を振り返りました。

「スカル競技」は一人乗りのボートの呼称で、あの細い艇形でよく転覆しないものだと素人はハラハラしますが、それが一漕ぎごとにぐんぐん進む姿はパワフルかつスマートで実に美しいものです。

G高ボート部は彼女一人の部員数です。生徒一人、監督であり師と仰ぐ一島先生と、陸上では一緒にランニングや筋トレ、水上では自転車で伴走する師が大きなメガホンで指示を出しながら練習しています。その努力の様子は正に啐啄同機を絵に描いたような風景です。

瑞慶山さんは、ボートの難しさについて「艇をまっすぐ進ませることが難しく現在は1000メートルの距離だと1300メートルぐらいを漕いでいるのではないかとし、「だけど、漕いでいるときは無心で漕ぐこと以外は何も考えていない」と話してくれました。



今後の目標は「九州で準決勝に進むこと。九州大会は全国でもトップレベルの戦いになるので、厳しくなるとは思いますが“今の自分にできること”をしっかりとやって、本番ではたくさん“学び”“経験”したいです」ときっぱり。さらに「一島先生や家族、応援してくれる方々に感謝しパワーをもらい頑張りたいです」との抱負は淀みない語り口が非常に印象的でした。



お父さんが撮影してくれた試合の時の写真は、すべてブシしていたそうです。理由は？ そう、娘の頑張りに感動した父親はカメラを持つ震える手を押さえることができなかったのですね。

姫菜さん、九州・全国大会では、ブシずに真っ直ぐ漕ぎ、最短距離でゴールして、お父さんに最高のシャッターチャンスをおあげ下さい!!